

科目ナンバリング		U-LAS70 10001 SJ50					
授業科目名 <英訳>	ILASセミナー：東洋史入門 ILAS Seminar: Primary Asian History			担当者所属 職名・氏名	人間・環境学研究科 教授 太田 出		
群	少人数群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	ゼミナール(対面授業科目)
開講年度・ 開講期	2024・前期	受講定員 (1回生定員)	25 (15) 人	配当学年	主として1回生	対象学生	全学向
曜時限	火3	教室	教育院棟演習室24			使用言語	日本語
キーワード	アジア / 中国 / 日本 / 戦争 / 歴史						
(総合人間学部の学生は、全学共通科目として履修登録できません。所属部局で履修登録してください。)							
[授業の概要・目的]							
日中関係史に関する基礎的な知識を身につけ分析する力を養う。また自分の言葉で発表・表現ができるよう練習することを目的とする。具体的には、受講生全員に太田出『北支宣撫官』（えにし書房、2023年）、ビル・ヘイトン『中国という捏造』（草思社、2023年）、2冊を購入し輪読してもらい、レジュメを作成、30～40分ほどで簡単な内容と読後感を発表してもらい、さらに30～50分ほど質疑応答を行う。質疑応答にはしっかり応えられるよう発表者には下調べ・準備が求められる。							
[到達目標]							
テキストを正確に読み込んで整理したうえでレジュメを作成し、自分の言葉で発表・報告する技術を見がく。							
[授業計画と内容]							
基本的には毎回1、2名程度の受講生に発表してもらう（受講生の人数によって異なる）。太田出『北支宣撫官』（えにし書房、2023年）、ビル・ヘイトン『中国という捏造』（草思社、2023年）は政治・外交・歴史・戦争など幅広い分野を対象としているから、発表担当者はもちろん、受講生全員にしっかり読んで報告してもらう。他の受講生も読んできて参加することはもちろん、質疑応答の際、積極的な発言・議論・問題提起が期待される。受講生の積極的な取り組みが求められる。 第1回 ガイダンス 第2回～第13回 『北支宣撫官』『中国という捏造』の輪読・討論 第14回 まとめ 第15回 フィードバック							
[履修要件]							
特になし							
[成績評価の方法・観点]							
平常点（50％）およびレポート（50％）で評価する。詳細は初回授業にて説明するので、必ず参加すること。							
[教科書]							
太田出『北支宣撫官』（えにし書房）ISBN:978-4-86722-122-8（受講生は必ず購入すること。） ビルヘイトン『中国という捏造』（草思社）ISBN:978-4-7942-2610-5（受講生は必ず購入すること。）							
----- ILASセミナー：東洋史入門(2)へ続く↓↓↓ -----							

ILASセミナー：東洋史入門(2)

[参考書等]

(参考書)
授業中に紹介する

[授業外学修(予習・復習)等]

発表担当者はテキストを熟読したうえでレジュメの作成・配布が求められる。もちろん受講生全員、読了したうえで参加する。担当者以外も興味のある内容ならば、関連書籍を予習してくるとより良い。

[その他(オフィスアワー等)]

この授業では日中関係研究の基礎を身につけることから始めるから、中国関連の研究に挑戦してみたいと考えている学生諸君はもちろん、アジアをめぐる過去・現在・未来について一緒に考えてみたい学生諸君の履修を希望する。オフィスアワーの詳細については、KULASISで確認してください。